

天候不順対策(防除)について

令和4年6月3日
J A全農ちば 営農支援部

銚子地方气象台の発表によると、千葉県では、3日昼過ぎから夕方にかけて大雨となる所がある見込みです。激しい突風、降ひょうに注意が必要です。また、週末から週明けにかけて天候不順が予想されています。栽培管理や緊急的な防除を実施しましょう。

1. 栽培管理・技術対策について

「大雨と突風及び降ひょうに対する農作物の技術対策について」（千葉県農林水産部担い手支援課）を参考に栽培管理・技術対策を実施してください。

2. 園芸

降雨後、治療剤を中心とした殺菌剤散布を実施してください。

(1) 施設栽培について

必要に応じ、施設内の空気循環や換気を行い多湿にならないようにしましょう。また、草勢が弱い場合には、摘果や茎葉の整理を行い草勢の回復に努めましょう。べと病や疫病は比較的低温を好み、多湿により発生が助長されます。

○スイカ 炭：炭疽病・褐：褐色腐敗病・う：うどんこ病

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
炭	11	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫前日	4回以内	予防・治療
	1+10	ゲッター水和剤	1500倍	収穫21日前	5回以内	予防・治療
炭・褐	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000倍	収穫3日前	5回以内	予防・治療
炭・褐 ・う	7+11	シグナムWDG	1500倍	収穫前日	3回以内	予防・治療
う	9+U13	ショウチノスケフロアブル	2000倍	収穫前日	2回以内	予防・治療

○メロン うどんこ病う・べと病べ

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
う	9+U13	ショウチノスケフロアブル	2000倍	収穫前日	2回以内	予防・治療
	19	ポリオキシシAL水溶剤※	1000~ 2000倍	収穫前日	5回以内	予防・治療
		ポリオキシシAL水和剤	1000倍			
う・べ	11	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫前日	4回以内	予防・治療
べ	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000倍	収穫3日前	5回以内	予防・治療

※ポリオキシシAL水溶剤はつる枯病に塗布の登録あり

緊急営農情報

(2) 露地栽培について

土壌水分が過湿になると生育不良や草勢低下が起こりやすくなります。また、育苗中も多湿になると病害が発生しやすくなります。多湿にならないよう排水対策を行いましょう。

○ネギ ベと病・さび病・軟腐病

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
べと	40+27	ベトファイター顆粒水和剤	2000 倍	収穫 14 日前	3 回以内	予防・治療
	4+M3	リドミルゴールドMZ	1000 倍	収穫 14 日前	3 回以内	予防・治療
	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000 倍	収穫 14 日前	3 回以内	予防・治療
べと・さび	11	アミスター20フロアブル	2000 倍	収穫 3 日前	4 回以内	予防・治療
		メジャーフロアブル	2000 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療
さび	3	オンリーワンフロアブル	1000 倍	収穫 14 日前	3 回以内	予防・治療
軟腐病	24+M1	カスミンボルドー	1000 倍	収穫 14 日前	2 回以内	予防・治療
	31+M1	ナレート水和剤	1000 倍	収穫 14 日前	3 回以内	予防・治療

○未成熟トウモロコシ すず紋病・紋枯病

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
すず紋病	3	トリフミン水和剤	2000～4000 倍	収穫 7 日前	3 回以内	予防・治療
紋枯病	14	リゾレックス水和剤	1500 倍	収穫 14 日前	2 回以内	予防・治療
	3	モンガリット粒剤	6kg/10a 株元散布	収穫 7 日前	2 回以内	予防・治療

○ジャガイモ 疫病

対象 病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
疫病	21+27	ダイナモ顆粒水和剤	2000～3000	収穫 7 日前	4 回以内	予防・治療
	40+M1	フェスティバルC水和剤	400～600	収穫 14 日前	3 回以内	予防・治療
	4+M3	リドミルゴールドMZ	500～1000	収穫 30 日前	1 回	予防・治療
	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	750～1000	収穫 7 日前	5 回以内	予防・治療
	40	レーバスフロアブル	1500～2000	収穫 7 日前	2 回以内	予防・治療

(3) 園芸作物施肥（樹勢回復）

低温や日照不足により樹勢の低下が見られた場合は、天候が回復次第、葉面散布を実施して樹勢の回復に努めましょう。

液肥例：ポリコープ2号 : 4 - 6 - 6 + 微量要素、400～600倍

キャッチアップ2号 : 15 - 30 - 15 + 微量要素、500倍

野菜の達人 : 15 - 14 - 10、1000倍

ア. 5～7日おきに2～3回程度、継続的に散布しましょう。

イ. 高濃度の散布は避け、気温の低い午前中に散布しましょう。特に高温（25度以上）、著しく樹勢が低下している場合は濃度を薄くしましょう。

（1回の高濃度散布より樹勢が回復するまで継続的に散布することが大切です）

ウ. 新葉を中心に葉の裏にかかるよう散布しましょう。

3. ナシ

4月中旬から芽基部病斑をはじめ、葉や果実への黒星病被害事例も多く見られています。千葉県病害虫発生予報第2号においても今後の黒星病の予想発生量は「多」となっており、今後降雨が続くと黒星病拡大のリスクはさらに高まります。下記に記載の防除を徹底しましょう。



【6月】黒星病 防除薬剤(輪紋病防除を含む)

6月上旬 : ベルクートフロアブル 1,500 倍 (収穫 14 日前/5回以内)

6月中旬 : フロンサイドSC 2,000 倍 (収穫 30 日前/散布1回)

6月下旬(新梢停止直後): ストロビードライフロアブル【QoI 剤(ストロビルリン系)】

2,000 倍(収穫前日まで/3回以内)

+オーソサイド水和剤 80 1,000 倍 (収穫3日前/9回以内)

時期の目安に注意。果実肥大期に防除することが狙いです

さらに黒星病対策が必要な場合は、臨機でオーソサイド水和剤 80、又はベルクートフロアブル、又はベルクートフロアブル+ユニックス顆粒水和剤 47 (5月に散布していない場合に限る)を散布(回数に注意)します。また、治療剤を使用する場合も耐性菌対策のためにこれら薬剤を必ず追加しましょう。

【7月】黒星病、防除薬剤(輪紋病防除を含む)

7月上旬 : インダーフロアブル【DMI(EBI)剤】 10,000 倍(収穫7日前/3回以内)

+ベルクートフロアブル 1,500 倍(収穫 14 日前/5回以内)

7月中旬 : フルーツセイバー【SDHI 剤】 1,500 倍(収穫前日/3回以内)

+オーソサイド水和剤 80 1,000 倍(収穫3日前/9回以内)

※輪紋病多発園ではフルーツセイバーの代わりにパレード 15 フロアブル【SDHI 剤】2,000 倍(収穫前日/2回以内)でもよい。

収穫期 : トップジンM水和剤(輪紋病対策) 1,500 倍(収穫前日/6回以内)

オーソサイド水和剤 80 は果実に薬剤汚れが発生する可能性があるため、対策が必要な場合、展着剤まくぴか 10,000 倍を加用しましょう。また、泡立ち防止のためにまくぴかは最後に加えましょう。